

第4刷で訂正(2021年6月4日公開分)

頁	誤り	正
170頁 左段下から7行目	また、寒冷や放射線、薬剤などの化学薬品などによって細胞傷害を起こすものを化学的要因という。	寒冷や放射線などでも生じる。医薬品、化学薬品などによって細胞障害を起こすものを化学的要因という。
613頁 左段下から18行目	その調節は、腎臓と肺における炭酸水素による強力な緩衝作用により行われる。	その調節は、複数の緩衝系に加え、肺と腎臓の働きにより行われる(p.60,「5 酸塩基平衡」参照)。」
400頁 左段下から3行目	血管が2本の骨の間を走行している前腕や下腿では緊縛による血流遮断が不十分になるため、通常は上腕または大腿を緊きん縛ばくする。	左記の文章を削除
636頁 表Ⅲ-5-32	「任意接種」の「ワクチンの種類」 ムンプス、 B型肝炎 、A型肝炎、ロタウイルス、… 「定期接種A類」の「ワクチンの種類」 四種混合(ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ)、MR(麻疹、風疹)、…、ヒトパピローマウイルス	「任意接種」の「ワクチンの種類」 ムンプス、A型肝炎、ロタウイルス、… 「定期接種A類」の「ワクチンの種類」 四種混合(ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ)、MR(麻疹、風疹)、…、ヒトパピローマウイルス、 B型肝炎
830 左段下から4行目	必要な 汚染 の程度は異なるが、…	必要な 除染 の程度は異なるが、…
662 左段下から17行目	約60%がアルツハイマー病、 約20% が脳血管障害、…	約60%がアルツハイマー病、 約20% が脳血管障害、…
394 左段下から21行目	ブドウ糖溶液の製剤は50% 20mL のプレフィルドシリンジを用いる(ブドウ糖として 投与量20g)	ブドウ糖溶液の製剤は50% 20mL のプレフィルドシリンジを用いる(ブドウ糖として 2本投与で20g)

第3刷で訂正(2021年3月31日公開分)

頁	誤り	正
653頁 右段下から13行目	年長児においても、 内ヘルニア によるイレウス、腸回転異常などにまれに遭遇する。	年長児においても、 複雑性腸閉塞 、腸回転異常などにまれに遭遇する。
425頁 左段下から6行目	喉頭や喉頭蓋の軟骨が未成熟であり 軟らかい ため損傷をきたしやすい。	喉頭や喉頭蓋の軟骨が未成熟であり、 もろい ため損傷をきたしやすい。
674頁 左段上から8行目	(新生児の心拍数は大人の2倍であり、心拍数 60 /分は徐脈である)	(新生児の心拍数は大人の2倍であり、心拍数 100 /分は徐脈である)
293頁 左段下から1行	…一類感染症または 二類感染 に該当するとされた…	…一類感染症または 二類感染症 に該当するとされた…
473頁 右段下から1行	意識障害の傷病者で一側の散瞳と反対側の片 麻痺 を…	意識障害の傷病者で一側の散瞳と反対側の片 麻痺 を…

第2刷で訂正(2020年7月1日公開分)

頁	誤り	正
103頁 図Ⅱ-1-75 右「呼吸時」イラスト上	横隔膜が収縮している	(文章を削除)
209頁 右段「C 重要な静脈内投与薬-1輸液製剤」上から3行目	…(1日1500~2500L)…	…(1日1500~2500mL)…
359頁 図Ⅲ-2-37 右上囲み3-4行目	※2 コーマックグレード1 の場合 ではBURP法を行ってもよい。	※2 コーマックグレード1 でない場合には BURP法を行ってもよい。
383頁 左段「M 静脈路確保と輸液-2適応」上から1行目	以下の(1)~(4)すべてで15歳以上の傷病者を対象とする。	(文章を削除)
383頁 左段「M 静脈路確保と輸液-2適応」上から5行目	(2) 心臓機能停止例:…	(2) 心臓機能停止例 [8歳以上(推定も含む)] :…
383頁 左段「M 静脈路確保と輸液-2適応」上から7-9行目	(3) 増悪するショックである可能性が高い場合、またはクラッシュ(圧挫)症候群を疑うか、それに至る可能性が高い場合:…	(3) 増悪するショックである可能性が高い場合、またはクラッシュ(圧挫)症候群を疑うか、それに至る可能性が高い場合 [15歳以上(推定も含む)] :…
383頁 左段「M 静脈路確保と輸液-2適応」上から12行目	(4) 低血糖症例:…	(4) 低血糖症例 [15歳以上(推定も含む)] :…
389頁 右段上から16-17行目	⑦アドレナリン投与後 1分後 に心電図波形と総頸動脈を確認する。	⑦アドレナリン投与後 約2分後 に心電図波形と総頸動脈を確認する。
390頁 写真Ⅲ-2-79 写真右の説明文	⑤⑦ 上肢を10~20秒程度挙上させ、アドレナリン投与後 1分後 に心電図波形と総頸動脈を確認する	⑤⑦ 上肢を10~20秒程度挙上させ、アドレナリン投与後 約2分後 に心電図波形と総頸動脈を確認する
707頁 左段下から5行	…あるいは橈骨動脈が 触知 可能である場合…	…あるいは橈骨動脈が 触知 可能である場合…
713頁 左段下から3行	…静脈が圧迫されて静脈 灌流 を妨げるので…	…静脈が圧迫されて静脈 還流 を妨げるので…
813頁 左段上から11-13行目	体温が1℃低下するごとに代謝は 5% 低下する。 体温が10℃低下すれば代謝は50%低下する ため、酸素需要量が低下して生存の可能性が延長される。	体温が1℃低下するごとに代謝は 約13% 低下するため、酸素需要量が低下して生存の可能性が延長される。 (「.体温が10℃低下すれば代謝は50%低下する」を削除)

第2刷で訂正(2020年9月14日公開分)

頁	誤り	正
147頁 左段「D 血液型」上から10行目	…日本人ではA型(40%)> B型 (30%)> O型 (20%)…	…日本人ではA型(40%)> O型 (30%)> B型 (20%)…
323頁 右段「B 感覚」上から7行目	…関節や 腱 に…	…関節や 腱 に…
778頁 右段上から7行	「…眼瞼結膜」のルビ「 がんけい けつまく」	「 がんけん けつまく」
207頁 左段上から8-9行目	…血糖値に応じて 必容量 のブドウ糖溶液を投与する。	…血糖値に応じて 必要量 のブドウ糖溶液を投与する。